

(2003年度)
平成15年度特別陳列

江戸時代の 大工さん

— 摂州大工仲間岸部組 —



上棟木槌

◆講演会

10月26日(日) 午後2時

「岸部大工組について」

講師／京都市大学名誉教授 川上 貢氏

会場／当館講座室 聴講無料

◆展示解説

11月2日(日) 午後2時

会場／特別展示室 *観覧料が必要

◆開館時間／午前9時30分～午後5時

◆休館日／月曜日。

ただし、11月3日(祝)・24日(休)は

開館し、翌4日(火)・25日(火)が休館

◆観覧料／大人200円(160円)

高大生100円(80円)

小中生50円(40円)

(内は20名以上の団体割引料金)

市内在住65歳以上の方は100円

「くるくすいた」カード持参の場合は無料。



吹田市立博物館

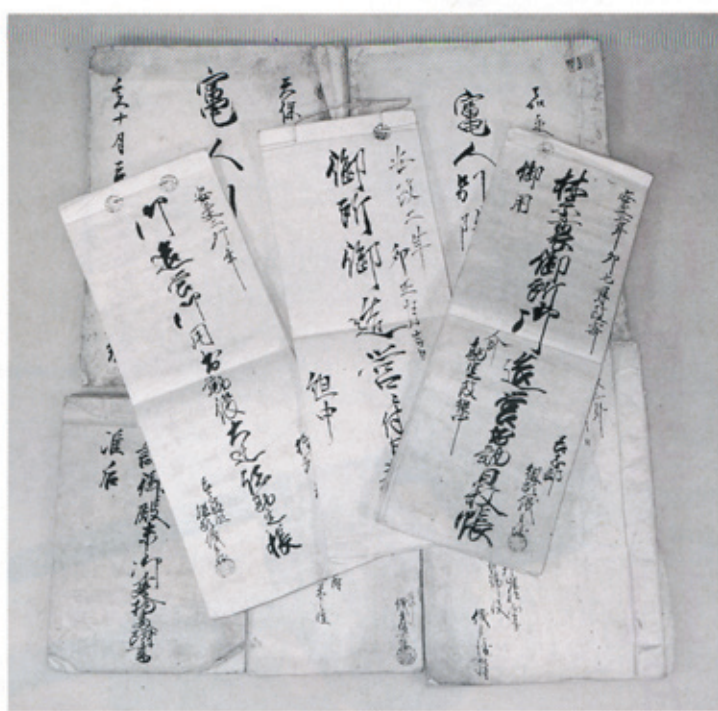
10月18日(土)～11月30日(日)

大阪府吹田市岸部北四丁目十番一号 電話06(63338)5500

<http://www.suitahaku.hokusetu.ed.jp>



聖徳太子少年像（高槻市清福寺町自治会蔵）



岸部組に残された古文書（川端義治氏蔵）



吉志部神社本殿棟札
（吉志部神社蔵）

江戸時代、畿内の大工は近江とともに京都の大工頭中井家の支配を受け、技術者集団として大工組を組織していました。摂津国における大工組は、寛永一二年（一六三五）に組織され、摂津国北部の在方には、芥川（嶋上）、太田（嶋下）、能勢、西成、豊嶋、川辺の六郡に及ぶ吉左衛門組ができました。やがて吉左衛門組は、地域別に分割再編され、福井、清福寺、小野原、池田、伊丹の五組の新大工組が成立します。そして、天明三年（一七八三）頃小野原組から嶋下郡の西部と西成郡の大工たちが分立して誕生したのが「岸部組」です。江戸時代の大工たちはこうした組に属し、支配地域の寺社・民家、さらには御所の造営など、公儀御用の普請も行いました。また、大工は職業神として聖徳太子を崇拝し、大工組では太子の忌日に一同が集まり聖徳太子の画像や彫像を祀り、祭事を取り行なう太子講が営まれました。さらに、建築工事の各工程の節目には種々の建築儀礼を行い、建物の軸組が組上がり、棟木をおさめる上棟式は、特に重要な儀式でした。

今回の展示ではこうした大工組の組織と活躍の跡を諸資料を通じて紹介するとともに、大工の信仰や建築儀礼、それに伴う棟札にも注目したいと思います。

交通案内

- JR 岸辺駅下車徒歩 25 分
- JR 吹田駅・阪急吹田駅から
桃山台駅前ゆき、山田樫切山ゆきバス「佐井寺北」
下車徒歩 10 分
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス「岸部」
下車徒歩 10 分
- JR 吹田駅北口から
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩 7 分
- 阪急南千里駅から
JR 吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」
下車徒歩 10 分

（交通案内図）

